

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都中野区東中野2-4-16
園名	学校法人愛和学園めばえの森保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・音（主に打楽器）

<テーマの設定理由>

平常の保育においてリトミックを取り入れ楽しんでいる事から、本活動においては自ら様々な楽器（主に打楽器、タンバリン、小太鼓、大太鼓、和太鼓、木琴、鉄琴）に触れ合いながら、打楽器の種類の違いやたたき方の違いによって響きが変わり、印象も変化する事を感じ取って欲しい。また様々な楽器をリズムよくたたき事により一つのハーモニーになり、保育者が演奏するピアノに合わせて演奏する事の楽しさを知って欲しい。また、最終的には打楽器をたたきリズムを取る側と、それに合わせ身体を動かす側に分かれ子ども達だけで自由な表現でリトミックを楽しめればと願っています。

2. 活動スケジュール

- ・様々な楽器の購入（随時）
- ・月に2回程度の専門の講師によるリトミックの継続（断続的に）
- ・1月28日…マリンバ演奏者による小太鼓、マリンバ演奏
- ・楽器は自由に触れる様になっている
- ・職員による楽器での演奏披露（1月29日）
- ・廃材での楽器作り（1月31日）
- ・2月28日…子ども達での演奏会（それぞれのパートをリズムよくたたき、ピアノに合わせる）
- ・継続的に続けて行く

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

※様々な楽器を用意

(大太鼓、和太鼓、小太鼓、鉄琴、木琴、タンバリン、鈴、トライアングル、シンバル等)

・自由にたたいたり触れる事が出来る様、クラスに配置する。

※廃材を使用し、楽器作り

・様々な廃材を用意する。(職員が自宅などから持ち寄る)

・折り紙、マスキングテープ、輪ゴム、シール、ビーズ、はさみ等用意する。

※マリンバ演奏者にお越しいただき、小太鼓での演奏を聴く機械を設ける

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① 様々な打楽器を中心に、子ども達が自由に触れ、叩けるように用意し音の違いなど体験する。
- ② 保育者の奏でる打楽器の音の違いに気付く。
- ③ 子ども達のたたき方に強弱を付け様々な楽器を楽しむ。
- ④ ピアノに合わせて好きな楽器を選び自由に演奏する。
- ⑤ リズムをとりながらピアノに合わせてと、1つの音楽になる事を知り、合奏へとつなげる。
- ⑥ 打楽器の振動を目でも確認し、音の出る仕組みに気付く
- ⑦ 廃材で楽器作りを楽しむ。
 - ・保育者から SDGS について聞き、知る。
 - ・音の出る仕組みを考え、制作する。実際にピアノに合わせて、作った楽器を奏でてみる。
- ⑧ マリンバ演奏者にお越しいただき、小太鼓での演奏を聴く
本格的な演奏に興味を示す。感動する。
- ⑨ 演奏のリズムに合わせて自由に身体表現をする。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

- ・リトミック活動では終始笑顔で、リズムをよく聞き楽しんで取り組む姿がみられた。
- ・様々な楽器を目前にして目を輝かせ、順番を守りたたいてみる。
- ・たたき方が乱暴になる事もあるので、都度大切に使う事、たたき方で響く音の違い、強いから良いわけではない事を伝えると、自分なりに強弱をつけ工夫してたたき様子が見られた。
- ・保育者の演奏を真剣に聴き、様々な楽器に興味を湧いている様子が伺える。どの楽器が良いなどと口々に言う。
- ・マリмба演奏者の小太鼓のたたきを観た際は、びっくりした様子で真剣に、音の迫力に圧倒されていた。その後のリズム遊びの誘いでは軽快に身体で自由に表現し、笑顔で取り組んでいた。
- ・手作り楽器を作る際は、想像力を働かせ、色々と試したり考えながら出来る子もいれば、戸惑いながらの子には保育者がヒントを与え、援助をし自分なりに作ることが出来た。
- ・打楽器で音楽に合わせてリズムをとる際は、保育者の指揮を見てたたきリズムが身に付き音楽と合わせ奏でる事が出来た。他の園児のたたき様子を観て興味の無かった楽器にも興味が出ている様子があった。
- ・クラスのみんと合奏する事により、楽器の音色が1つになる事を知り、楽器への意欲が更に湧いた様子が伺えた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・同じ楽器でもたたき方次第で大きさや速さなど違いが出来て、子ども達の興味の示し方も違って来る。普段から、様々な方法で示すことにより、今まで興味が無かった子も興味関心のきっかけになる事を知る。
- ・想像した以上に、手作り楽器に夢中になり、工夫している様子があった。
- ・音の強弱により、音から気持ちが伝わって身体全体での表現活動が豊かになった。